

都市再生整備計画 事後評価シート

新開地区

平成26年3月

広島県竹原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	竹原市	地区名	新開地区			面積	34ha				
交付期間	平成21年度～25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	420.2百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道楠通成井線)、公園(秋井公園・上新開公園・大方公園)、地域生活基盤施設(ポケットパーク)、高質空間形成施設(街路灯・カラー舗装)										
		提案事業	地域創造支援事業(耐震性防火水槽(秋井公園・上新開公園)、防犯事業(防犯灯))、まちづくり活動推進事業(ワークショップ開催)										
		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-			-					
		提案事業	・まちづくり活動推進事業(一間川環境学習事業)		ビオトープ的な疑似川を設置し、そこで環境学習事業を実施する予定であったが、ワークショップにおいて構造的死角により危険が生じるとの意見が出たことを受け、浅い水遊び場に変更した。その結果、一間川環境学習が実施できなくなったため。(別途公園緑化事業で環境学習を行った)			・影響なし					
			・まちづくり活動推進事業(ワークショップ開催)(事業の一部削除)		秋井公園、上新開公園、大方公園の3箇所についてワークショップを実施する予定であったが、上新開公園でのワークショップで大方公園の内容も検討したため、大方公園におけるワークショップを削除した。			・影響なし					
		新たに追加した事業	基幹事業	-		-			-				
	提案事業		・事業活用調査(事後評価)		・H25の事業完了にともない、今後のまちづくりを検討するため。			・影響なし					
	交付期間の変更	当初	平成21年度～25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	-								
	変更		-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	狭隘道路の整備率	%	7	H21	22	H25	●	14	△	あり	・関連事業である新開士地区画整理事業により狭隘道路の改善が進められているが、当該士地区画整理事業の完了年度が当初計画のH24からH29となったため、狭隘道路整備率の目標値達成はH29となる。	平成27年4月
	指標2	やすらぎある公園の充足率	%	15	H21	86	H25	●	63	△	あり	・3箇所の公園のうち2箇所(秋井公園・上新開公園)の公園が完成し、公園の充足率は向上している。H25年度内には残りの1公園(大方公園)も完成予定である。	平成27年4月
	指標3	災害に強い設備の整備率	%	0	H21	67	H25	●	67	○	あり	・当該地区の耐震性防火水槽の設置が可能な公園数に対する耐震性防火水槽の整備は完了しており、目標を達成している。	-
	指標4	住民活動団体の数	団体	1	H21	3	H25	●	3	○	あり	・施設の管理・運営や地域の安心・安全活動を行う住民活動団体は目標値の3団体が結成されている。(榎町親和会、中通小連合育成会、一間川を守る会)	-
	3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
その他の数値指標1								●					-
その他の数値指標2							●					-	
4)定性的な効果発現状況	・地域住民による自主的な公園の管理(竹原市公園里親制度)や一間川の清掃活動を実施するなど、当該地区のまちづくりに愛着が発現している。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	公園整備のワークショップを開催(秋井公園・上新開公園)			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も地域住民によるまちづくり活動を支援する。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	竹原市公園里親制度により地域住民の自主的な公園の管理を実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も地域住民による継続的な公園、一間川の維持管理を支援する。				
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

新開地区（広島県竹原市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：安全で快適な人にやさしいまちづくり 目標1：商業機能を併せ持つ良好な住環境の形成 目標2：災害に強いまちづくりに資する基盤整備の推進 目標3：住民主体による持続的なまちづくりの推進		狭隘道路の整備率	単位：％	7	H21	22	H25	14	H25
		やすらぎある公園の充足率	単位：％	15	H21	86	H25	63	H25
		災害に強い設備の整備率	単位：％	0	H21	67	H25	67	H25
		住民活動団体の数	単位：団体	1	H21	3	H25	3	H25

＜基幹事業＞ 秋井公園

＜基幹事業＞ 大方公園

＜提案事業＞ 防犯事業（防犯灯）

＜基幹事業＞ 高質空間形成施設（街路灯）

＜基幹事業＞ 高質空間形成施設（カラー舗装）

＜基幹事業＞ 地域生活基盤施設（ポケットパーク）

＜基幹事業＞ 市道橋通成井線

■基幹事業
上新開公園
□提案事業
ワークショップ開催
耐震性防火水槽
○関連事業
公園芝生化事業

■基幹事業
秋井公園
□提案事業
ワークショップ開催
耐震性防火水槽
○関連事業
公園芝生化事業

■基幹事業
大方公園

■基幹事業
市道橋通成井線
地域生活基盤施設（ポケットパーク）
高質空間形成施設（カラー舗装）

□提案事業
防犯事業（防犯灯42基）

■基幹事業
高質空間形成施設（街路灯9基）

凡例
■新開地区
■町並み保存地区
■土地区画整理事業
■公園
■道路・緑地・カラー舗装
■一帯
■川
■街路灯
■防犯灯

0 100 200

□提案事業
事後評価

まちの課題の変化

・新開土地区画整理事業に合わせた道路事業や公園事業の推進により生活道路や身近な公園等の生活基盤が整備され、狭隘道路は減少し消防・救助活動等の円滑化が進み、町並み保存地区や中心市街地との近接性を活かした良好な市街地環境が形成されている。
・公園整備により身近な憩いの場や災害時における避難場所が確保された。また、震災時等における初期消火に資する防火水槽が確保された。
・防犯灯・街路灯の整備により、市街地の安全性が向上した。
・町並み保存地区への北側からのアクセス強化並びに導入部での魅力の向上が図られた。街路灯、カラー舗装により道路景観の向上が図られた。
・住民主体の公園管理の体制が構築できた（竹原市公園里親制度）。
・地域住民による継続的な公園の管理や一帯川の清掃活動を支援する。
・新開土地区画整理事業による計画的な土地利用や良好な市街地景観の育成を促進するため、地域住民を主体としたまちづくり体制の構築を促し、地区特性に応じたまちづくり計画や道路・河川・公園等の施設の管理運営を支援する。
・町並み保存地区等の歴史的資源や豊かな自然資源、行政・文化・商業・観光などの都市機能の集積を活かしながら、中心市街地と一体的に新開土地区画整理事業等を計画的・重点的に推進し、にぎわいと落ち着きのある中心拠点地区の実現や職・住の近接する居住環境の育成を図る。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

・新開土地区画整理事業に合わせた道路事業や公園事業の推進により生活道路や身近な公園等の生活基盤が整備され、狭隘道路は減少し消防・救助活動等の円滑化が進み、町並み保存地区や中心市街地との近接性を活かした良好な市街地環境が形成されている。
・公園整備により身近な憩いの場や災害時における避難場所が確保された。また、震災時等における初期消火に資する防火水槽が確保された。
・防犯灯・街路灯の整備により、市街地の安全性が向上した。
・町並み保存地区への北側からのアクセス強化並びに導入部での魅力の向上が図られた。街路灯、カラー舗装により道路景観の向上が図られた。
・住民主体の公園管理の体制が構築できた（竹原市公園里親制度）。
・地域住民による継続的な公園の管理や一帯川の清掃活動を支援する。
・新開土地区画整理事業による計画的な土地利用や良好な市街地景観の育成を促進するため、地域住民を主体としたまちづくり体制の構築を促し、地区特性に応じたまちづくり計画や道路・河川・公園等の施設の管理運営を支援する。
・町並み保存地区等の歴史的資源や豊かな自然資源、行政・文化・商業・観光などの都市機能の集積を活かしながら、中心市街地と一体的に新開土地区画整理事業等を計画的・重点的に推進し、にぎわいと落ち着きのある中心拠点地区の実現や職・住の近接する居住環境の育成を図る。